

安息日学校分級クラス活動がもたらすものは・・・

A. 聖霊の指導と助けのもとに、分級クラス活動は教会を養育、交わり、継続的伝道活動の結合した活動的な中心地に転換することができる基礎的な組織を提供します。

1. 分級クラス活動は、メンバーが安息日学校と教会を休み、結局信仰を捨てる 2 つの理由に対する非常に実質的な解決策を提供します。

a. 暖かい関心を向ける交わりの必要にこたえる。

b. 日常生活の難問題に対処する中で感じられる現実的な問題にこたえてくれる援助の必要。小グループでは、それらの問題が取り上げられ世話を受けることができる。

2. 分級クラス活動は、教会を離れて行く理由としてメンバーが与える問題に対応します。

3. 分級クラス活動は、戻ってきた信者や新しい信者が成長するための安全な雰囲気を提供することができます。それは主が働かれるために安全な場所です（神は教会に「悔い改めていない」者がいるため、多くを連れて来ない。6T371）

4. 分級クラス活動は、伝道活動を励起する雰囲気を提供することができます。たとえ 1 人でも自分の経験を証し、毎週証しのために時間をささげるならば、そのときイエスを証しすることは広がっていきます。

a. 小グループでは、以下の段階が生じることを経験が証明しています：

(1) グループのメンバーは親密にお互いを知り合っています。

(2) お互いに愛し合っています。

(3) お互いに奉仕し合っています。

(4) その後、焦点は外に向かっていきます。お互いに知ること、愛すること、奉仕することの自然な結果は伝道活動としてあらわれます。

b. 変革された教会の安息日学校校長からの次の発言に注目してください：

「私は、分級クラス活動によってもたらされた、愛と関心を向ける雰囲気に対して感謝の気持ちを表してくれたメンバーの多くに質問しました。そこには絆があり、交わりがあり、家族の感覚があります。皆が心地よく感じられ、必要とされていると感じられるような場の雰囲気です。仲間だという感じです。それぞれが悲しみや喜びを分かち合える機会が与えられています。お互いに対するより親密な理解が愛を生じさせています。お互いへの愛情は、グループにいる他の人の必要を満たすようになりたいと思うほどに育っているのです。しかし、それ以上に、この愛の絆は外に向かって拡大する現象だということです。それは内向きではありません。愛によって結び合わされた弟子として、各々は、この愛情深い交わりに自分達の隣人を招くために、御言葉によって周りの人々に関心を表していく奉仕にたずさわりたい

と願い始めています。」

この眠っている教会は実際に活発な活動の中心地へと変革されました。聖書研究の数が驚くほど増えました。以前、誰にも聖書研究を授けないことが自分の目標だと話していた1人のメンバーは、今では聖書研究を授けることに興奮を覚えています。つい最近彼女の聖書研究から2名のバプテスマがありました。実際、その教会では毎月のようにバプテスマがあります。

5. 分級クラス活動は、多面的であると同時に一致した方法で、メンバーの希望に従って全体を巻き込む方法を提供することができます。「もしもクリスチャンたちが、ひとつの目的の完成のために、唯一の力あるお方に従って、一体となって前進しながら協力して活動するならば、彼らは世界を動かすだろう」（「教会への証し」第9巻、221 ページ）。
6. 分級クラス活動は、洗練された働きとして起こらなければならない我々が良く知っている神のご命令を成就させるかも知れません。

「教会に籍のある構成員である男女が働きのために結集され、自分たちの努力を牧師たちや教会役員たちの努力と結び合わせようとしめない限り、この地上における神の働きは決して完成させられることはできない。」（GW 352）

-- 牧師たちのより高い教育や素晴らしい説教にかかわらず、まさに基本原理は次のとおりです：「われわれはまた、他人に与える時にのみ受けることができる」（「各時代の希望」39 章より）

7. 分級クラス活動は、「神と共に働く者たちが、教会で最も割合として多」くなるために、聖霊の後の雨を受けよという、もう1つの神のご命令を成就するための、まさに現実的な方法となるかも知れません。（鉤括弧部分「レビュー・アンド・ヘラルド」1896 年7月21 日）
8. 分級クラス活動は、組織された継続的な伝道活動を確立するための、まさに現実的な手段になりえます。もう1つの神のご命令に注目してください：「時は短く、われわれの力はより大きな働きのためにまとめられなければならない」（「教会への証し」第9巻、27 ページ）
9. 分級クラス活動は、すべての教会を訓練学校とすることができます。もう1つの神のご命令に注目しましょう。「すべての教会がクリスチャンの働き人を養成する学校でなければならない」（「ミニストリーオブヒーリング」第3部、第9章より）
10. 分級クラス活動は、安息日学校が魂をキリストおよびキリストの真理についての知識に導くための、最大の機関の1つであることを助けることができます。安息日学校がどうあるべきかについて、次の言葉に注目してください。

「安息日学校は、最も効果的に魂をキリストに導くための、一大機関となるべきです。・・・

もし安息日学校が正しく行われるならば、それは人の魂を真理に導く神の一大機関となります。」（「安息日学校への勧告」より）

11. 分級クラス活動は、「誤ることのないお方」が「クリスチャンの働きの基盤として」小グループの形成を勧告している証しの言葉に従う方法になりえます。（鉤括弧部分「教会への証し」第7巻、21、22 ページ）

12. 分級クラス活動は、暖かい相互作用によって、有効な伝道活動のためにメンバーを準備することができます。

B. 小グループによる安息日学校分級クラス活動は上記の言及された神のご命令を守るのを助けることができます。次のような可能性があります：

＞安息日学校は毎週持たれているので、組織的・継続的に訓練を施す優れた学校とすることができます。

＞伝道活動リーダーは、最大の助けとして、週毎に理論的かつ実践的に魂を勝ち取るための育成と訓練を提供することができます。その結果、

＞洗練された働きのために一致して神と共に働くことのできる教会員が、やがて最も割合として多くなっていきます。

C. 増加した経験が示していることは、小グループによる安息日学校分級クラス活動は、もしその一歩一歩の歩みを聖霊の導きにゆだねるならば、成功することができるということです。すなわち、霊の一致を嘆願し、目的の一致を嘆願し、知恵を嘆願すること、また神の御臨在を求めることです。そして、以下の必要不可欠な鍵となる要素を含めることです：

1. 分級クラスの活動計画作成会議。
2. 休んでいるメンバーに対する週毎の対応。
3. 分級クラスにおける約 20 分間の伝道活動の時間。
4. 聖書の学びの分かち合いからの日常生活への適用。
5. 毎週、そして毎月の、リーダーのための相談/評価。
6. 毎月の安息日学校全体での伝道活動リーダーによる合同報告会。
7. 毎月の家庭でのクラス懇談/評価。